



2019年8月吉日

紫紺会会員・部員ご父母・部員 各位

関西大学体育会漕艇部

紫紺会会長 大山 剛

総 統 括 中村 有吾

監 督 高宮 憲浩



「新艇エイト購入募金」ご寄付のお願い

謹 啓 暑さ厳しき折、貴台におかれましては益々ご健勝のことと存じます。

平素は関大漕艇部、紫紺会の活動に何かとご協力、ご支援いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、現役部員は日々、勝利を目指して練習に励んでおりますが、皆様方に十分ご満足いただける結果は、いまだ残せておりません。しかしながら、近年は部員の増加や新コーチの加入により、本年5月の全日本選手権男子舵手付きフォアで8位入賞を果たすなど戦績は上昇傾向にあります。

一方、当部の対校エイト艇は購入から14年が経過し劣化が激しく、レース艇としての限界が見られます。コーチ陣の嘆願もあり、7月4日の紫紺会幹事会にて慎重審議のうえ、下記の資金計画のもとエイト新艇の購入につき決議いたしました。これを受けて、皆様方にご寄付をお願いさせていただくこととなりました。

つきましては、厳しい経済状況の中、誠に恐縮でございますが、格別のご理解とご賛同を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます

謹 白

- 1 募金目的 エイトの新艇購入
- 2 募金用途 エンパッハ製エイト、アルミウィングリガー、オール、付属品等
- 3 募金目標額 300万円
- 4 募金対象 紫紺会会員、部員ご父母、部員、関大漕艇部を応援いただいている方
- 5 募金単価 【1口】紫紺会会員：1万円、部員ご父母：5千円、部員・その他：3千円  
ご寄付は1口でも大変助かりますが、できましたら複数口でのご協力をお願いいたします
- 6 募金期日 2020年2月末日まで
- 7 寄付者の顕彰 ご寄付をいただいた方のお名前を部誌『千里』及び関西大学 Web 芳名録に掲載させていただきます（匿名も可能です）

新艇エイト購入に係る資金収支計画

収 入		支 出	
(1)紫紺会 新艇・漕艇用具購入積立金	2,912,800	(1)エイト1艇、付属品、輸送費等	6,474,600
(2)紫紺会 100周年事業積立金(一部転用)	1,617,800	(2)オール16本(予備を含む)	1,056,000
(3)新艇エイト購入寄付金	3,000,000	アルミウィングリガーは(1)に計上。いずれも税込	
合 計	7,530,600	合 計	7,530,600

【減免税措置に係る注意事項】寄付金控除の有効期間は5年ですが、2019年(1月1日～12月31日)分の確定申告期間は、2020年2月17日(月)～3月16日(月)です。申告に要する学校法人関西大学が発行する領収書は、ご寄付の入金が確認でき次第送付されますが、1ヵ月ほどタイムラグが生じる場合があります。

【寄付のお問い合わせ先】漕艇部副顧問 朝井 正貴 090-8192-3215 rowing84@jm.kansai-u.ac.jp



## 紫紺会会員の皆様へ

平素より手厚いご支援、暖かいご声援をいただき、ありがとうございます。

さて、この度、経年劣化が激しいエイトの新艇を、紫紺会による積立金並びにご寄付を原資として購入いただけると伺いました。

寄付に関しましては、私たち部員も募金の趣旨をしっかりと理解し、できる限りのことはさせていただきたいと思っております。

そしてなによりも、更なる飛躍に向けて一生懸命練習に取り組み、新艇に見合うレース結果をもって、感謝の気持ちをお示しする所存です。

2019年8月 関西大学体育会漕艇部 部員一同

### ★ 艇速を上げるために用具（艇・オール）に求められる条件

- ①剛性：発揮した力を水中に伝えるための強度。縦剛性・リガー剛性・ねじり剛性が主な検証項目で、経年劣化とともに艇の剛性は落ちていきます。
- ②クルーとの適正：クルーに合った設定体重（crew weight）の艇を使うことで、艇本来の接水面積（＝浮き方）を得ることができます。バランスやスピードに直結します。
- ③船型：バランス・浮き方に影響します。各メーカーによって異なる思想でデザインされており、長さや内部構造も様々です。使用するレース、求めるローイングに合った艇を使うのが基本です。  
ex. 早慶レガッタでの隅田川専用艇、The Boat Race のケンブリッジ特注艇など  
インカレ・全日本で戦う他団体と互角の実力をつけたとしても、道具を扱うスポーツである以上、艇の良し悪しにより、発揮される艇速が大きく左右されるのは事実です。

### ★ Empacher 製エイトの選定理由

- ①大型艇種での剛性が一番高く、独自の船型により安定性に優れている。
- ②現在も関大で使用しているメーカーであり、扱いに慣れている。
- ③現有艇の3点リガーから、アルミウイング仕様にする事で直進性の向上、ねじり剛性の向上が確保でき、艇自体の剛性低下も抑えられる（長持ちする）。
- ④購入希望スペックとしては、crew weight（適正体重）：70-80kg または 75-85g。モールド：R 8 4

### ★ リガーの比較

#### ①アルミ3点リガー：千里12世（写真A）

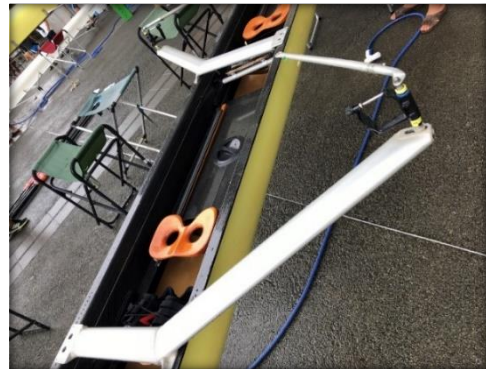
構造が単純で昔からあるタイプです。全体の剛性はウイングに比べて低めですが破損のリスクが少ないのが利点。ドライブの際に捻れが発生してしまう為、蛇行やエネルギーロスが大きくなります。

#### ②アルミウングリガー：他大学の舵手つきフォア（写真B）

軽くて剛性が高く、艇自体へ力を伝える効率が非常に高い。アルミなので破損リスクも低い。艇への捻れ効果も少なくなるため、直進性も高くなる。エイトに限らず大学クルーの主力艇に多いです。



写真A



写真B（今回購入予定のリガー）